

平成30年度外部評価会議結果（9/20実施分・評価グループ名【西山町】）

<事務事業単位の評価>

小グループ名	事業No.	事業名	【参考】市長評価	委員評価集計	A委員	B委員	C委員	D委員	E委員
① 市民サービス	228	西山町事務所庁舎管理費	【一部見直し】 休日・夜間の書類受付方法等、庁舎管理委託の方法について検討すること。	【継続】:0名 【一部見直し】:5名 【休止】:0名 【廃止】:0名	【一部見直し】 夜間警備の無人化に伴うサービス低下も現状の利用実績からすると仕方ない。	【一部見直し】 件数が少ないことでの見直しは必要であるが、事務所でありながら受付できないことも問題	【一部見直し】 利用者に対するセコム人件費は、利用者の便を考えたとしても費用対効果は発揮されない。	【一部見直し】 地区全体の中で、より効率的な管理を検討すべきこと。	【一部見直し】 管理委託方法の更なる改善が必要
	235	パスポート発給事務費（西山町）	【廃止】 利用件数が少ないことから事務処理は本庁で対応することとし、事務所では申請受理及び交付のみとする。	【継続】:0名 【一部見直し】:2名 【休止】:0名 【廃止】:3名	No.235【廃止】 No.263【一部見直し】 No.779【一部見直し】又は【廃止】 業務を減らすことによる職員の負担低減を他の業務に生かすべき。 町事務所、いきいき館に加えてふるさと公苑も含めた施設の統合、整理が必要	【廃止】 本庁での対応で問題ないと考えます。	【廃止】 少額であるが、受付だけでよいと考える。	【一部見直し】 窓口業務を残す方向であれば、作成業務を見直すことは可。	【一部見直し】 廃止の方向で可(受理、交付除く)
	263	いきいき館施設整備費	【一部見直し】 いきいきデイサービスセンター管理費及びいきいき館管理費と合わせて、いきいき館の利用について全面的な見直しを行う。	【継続】:0名 【一部見直し】:4名 【休止】:0名 【廃止】:0名 ※評価辞退:1名		【評価辞退】 補助金の問題もあり継続を検討する必要がある。将来的な一部見直しは必要	No.263【一部見直し】 No.779【一部見直し】 西山町事務所も含め、施設、業務の統合は必要と考える。 また、賃貸料が物件に関して適正なのかどうかも評価いただきたい。	No.263【一部見直し】 No.779【一部見直し】 地域の意向を十分に勘案の上、統合する方向を検討する必要がある。	【一部見直し】 補助利用の難しい点の中だが、ふれあいクリニック含め集約検討で可
	779	西山町産業会館管理費	【一部見直し】 西山ふれあいクリニックを含めていきいき館へ移転し、機能の集約化を図る。	【継続】:0名 【一部見直し】:5名 【休止】:0名 【廃止】:1名 ※重複あり		【一部見直し】 残る建物と移転先と補助金との絡みがあり課題が多い。慎重検討要			【一部見直し】 インフラ20%削減方向の中、産業、広告の拠点性を更に深めること。
② 地域振興	786	海水浴場等施設管理費	【一部見直し】 サービスを維持していくため、駐車場料金の在り方について検討すること。	【継続】:1名 【一部見直し】:4名 【休止】:0名 【廃止】:0名	【一部見直し】 市長及び担当課の意見どおり駐車場を含め収益の確保は必要	【一部見直し】 観光としての捉えで管理を再考することが必要。	【継続】 海の柏崎であり、多数の集客を期待しますが、柏崎市の駐車場の考え方と同一であってほしい。	【一部見直し】 柏崎の観光全体を見据えた中での料金の有料化であれば可	【一部見直し】 柏崎市観光協会との協調性が(出雲崎含めて広域化)必要
	790	西山ふるさと公苑整備費	【一部見直し】 利便性向上のため、ふるさと公苑の下の駐車場にある物産館を上へ集約する。	【継続】:1名 【一部見直し】:4名 【休止】:0名 【廃止】:0名	【一部見直し】 集客施設として抜本的な方針の転換が必要	【一部見直し】 観光拠点として集約力のある資源を再考いただきたい。	【継続】 「安根菜(あねさ)」については、補助金交付のため集約は難しい。生産者の確保、客数、毎日の営業は無理	【一部見直し】 施設のより有効な活用を目指し、全体的構想を描く中で進めること。	【一部見直し】 柏崎の拠点性がある大きな素材。指定管理の方向は可
	796	雪割草保護関係経費	【一部見直し】 近年は盗掘事例がないことから、監視活動に対する委託を廃止する。	【継続】:0名 【一部見直し】:5名 【休止】:0名 【廃止】:0名	【一部見直し】 担当課、市長の意見どおり。	【一部見直し】 監視委託の廃止は妥当。長岡市に比べPRが不足していると考え。もつとPRを。	【一部見直し】 目的がある程度達しているのであれば、費用削減も必要と考えます。	【一部見直し】 監視活動の廃止は可能と思うが、その後の情報収集には努めること。	【一部見直し】 監視員管理は目的達成か。

<評価グループ全体を通じての自由記載>

(A委員) 合併後10年以上経過し、人口減が止まらない以上、施設の廃止とそれに伴う市民サービスの低下は避けられない。それを補う市民主体の地域課題解決手段(移動支援、買い物支援、健康づくりなど)を育成・支援する施策が必要だと思う。

(B委員) 単年度で評価できない事業もあり、長期調整を要するものもあると考えます。行政コストの削減は必要ですが、サービスの低下が人口の低下にならないよう、地区全体を住民も巻き込んで考えていくことも大切ではないかと思いました。

(C委員) サービス提供をどこまでなら納得いただけるかが、人件費の削減につながると思います。施設管理費の削減は職員のコスト意識、初期投資はかかりますが、残す施設については早期にLED化する等検討いただきたい。また、合併に当たり、住民サービスは高柳も含め何と何を残すかを、将来を見据えた中で方針を決定することが必要と考えます。

(D委員) 市町合併に伴う弊害との指摘について十分な配慮しつつ、事業統合を検討していただきたい。

(E委員) 町から市への合併の時代から13年、集約・廃止はやむを得ない。ただし、市外・県外から注目いただき、定住人口を増やす、若者の定着を図るためにも、観光、地域の素材をアピールするために柏崎市本庁とのタイアップ・協調を思い切る決意・決断が必要